

下水道事業会計の 決算状況

下水道事業は、地方自治体が経営する公営企業として、下水道使用料などの収入で経費を賄うことを基本としながら、公共性が高い事業に係る経費については、一定のルールに基づき、市税収入などからなる一般会計に費用を負担してもらい、経営を行っています。

今号では、平成28年度の決算状況について、お知らせします。なお、決算状況については、10月に市議会でも審査を受けることになります。

問い合わせ 下水道グループ (☎09052)

下水道事業の概要

下水道事業では、市街地を中心に下水道管を敷設し、汚水処理事業や雨水処理事業を行っています。

汚水処理事業は、各家庭から出される洗濯や茶わん洗い、お風呂などに使った水や、し尿を浄化センターできれいな水に処理して川に流し、市民の皆さんの暮らしを衛生的に保っています。

雨水処理事業は、大雨によって住宅や道路の被害が起きないよう、雨水を川などに流すための下水道管を敷設し、管理しています。

そのほか、人口の少ない地域などにおいて、希望した家庭に浄化槽を設置する事業などを行っています。

決算の概要

収益的収支の決算

下水道事業会計では、収入や支出の性質により、収益的収支と資本的収支に分けて経理を行っています。

このうち、収益的収支では、下水道管や浄化センターの管理に必要な支出と、利用者の皆さんからお支払いいただく使用料などの収入を経理しています。

収益的収支の決算額を、営業活動とそれ以外の活動によるものに分類

収益的収支の損益計算書 (単位：万円)

項目	収益/費用	損益
営業収益	66,123	
利用者からの下水道使用料	60,282	
一般会計からの負担金	5,829	
その他	12	
営業費用	141,652	
給与支給のための経費	6,241	
施設管理のための経費	30,693	
減価償却費	98,387	
その他	6,331	
営業損益		△ 75,529
営業外収益	110,107	
一般会計からの補助金	65,851	
長期前受金戻入	41,736	
その他	2,520	
営業外費用	35,230	
借入金に係る利息の支払	35,221	
その他	9	
経常損益		△ 652
特別損益		△ 17
純損益		△ 669

し、営業活動での損益(営業損益)やそれ以外の活動も含めた損益(経常損益)、特別な費用も含めた最終的な損益(純損益)に分けて示したものが損益計算書です。

収益的収支の決算額は、消費税を除き、営業収益と営業外収益などを合わせた収入が17億6千229万円、営業費用や営業外費用などを合わせた支出が、17億6千898万円となりました。

また、営業活動では7億5千529万円の赤字となり、営業活動以外を含めた経常損益が652万円、純損益は669万円の赤字となっています。